

銀座の朝

岡本綺堂

青空文庫

夏の日朝まだきに、瓜の皮、竹の皮、巻烟草まきたばこの吸殻あけぼさては紙屑ろうぜきなんどの狼籍ろうぜきたるを踏みて、眠れる銀座の大通にたたずめば、ここが首府みやくの中央かと疑わるるばかりに、一種荒涼の感を覚うれど、夜の衣ころもの次第にうすくかつ剥はけて、曙あけぼのの光の東より開くと共に、万物ばんぶつ皆生きて動き出すを見る。

車道と人道の境界さかいに垂れたる幾株の柳は、今や夢より醒めたらんように、吹くともなき風にゆらぎ初そめて、涼しき暁の露をほろほと、翻こぼせば、その葉かげに瞬またたき目するかと見える瓦斯灯がすとうの光の一つ消え、二つ消えてあき霧絶え絶えの間ひまより人の顔おぼろに覗のぞかるる頃となれば、派出所の前にいかめしく佇たたず立める、巡査の服の白きが先まず眼に立ちぬ。新ばしの袂たもとに夜あかしの車夫が、寝の足らぬ眼を擦こすりつ驚くばかりの大おお欠おくびして身を起せば、乞食あしもとか立ん坊かと見ゆる風体ふうてい怪しの男が、酔えるように踉蹌よろめき来りて、わが足下あしもとに転がりたる西瓜すいかの皮をいくたびか見返りつつ行過ぎし後のち、とある小おぐらき路次ろじの奥より、紙屑しせつ籠背負こおいたる十二、三の小僧が鷹のような眼を光らせて衝つと出いでぬ、罪のかげはこの児この上を掩おおえるように思われて、その行末の何とやらん心こころもと許なく物悲しく覚えらるるなり、早き牛乳配達と遅れたる新聞配達は、相前後して忙せわしげに人道を行違ちがう、時はいま

午前三時。

築地海岸にむかえる空は灰白く薄紅くなりて、服部の大時計の針が今や五時を指すと読まるる頃には、眠れる街も次第に醒めて、何処ともなく聞ゆる人の声、物の音は朝の寂靜を破りて、商家の小僧が短夜恨めしげに店の大戸がらがらと明れば、寢衣姿媚きてしどけなき若き娘が今朝の早起を誇顔に、露ふくめる朝顔の鉢二つ三つ軒下に出でて眼の醒むるばかりに咲揃いたる紅白瑠璃の花を現ともなく見入れるさま、画に描ばやと思う図なり。あなたの二階の硝子窓おのずから明るくなれば、青簾の波紋うつ朝風に虫籠ゆらぎて、思い出したるように啼出す蟋蟀の一声、いずれも涼し。

六時をすぎて七時となれば、見わたす街は再び昼の熱鬧と繁劇に復りて、軒をつらねたる商家の店は都て大道に向つて開かれぬ。狼籍たりし竹の皮も紙屑も何時の間にか掃去られて、水うちたる煉瓦の赤きが上に、青海波を描きたる箒目の痕清く、店の日除や、路ゆく人の浴衣や、見るもの悉く白きが中へ、紅き石竹や紫の桔梗を一荷に担げて売に来る、花売爺の笠の檐に旭日の光かがやきて、乾きもあえぬ花の露鮮やかに見らるるも嬉し。鉄道馬車は今より轟き初めて、朝詣の美人を乗せたる人力車が斜めに線路を横ぎるも危うく、活きたる小鰻うる魚商が盤台おもげに威勢よく走り来れば、

月琴^{げつきん} かかえたる法界節の二人連^{づれ}がきようの収入^{みいり}を占いつつ急ぎ来て、北へ往^ゆくも南へ向うも、朝の人は都^{すべ}て希望と活気を帯びて動ける中に、小さき弁当箱携えて小走りに行く十七、八の娘、その風俗と色の蒼^{あお}さめたるとを見れば某活版所の女工なるべし、花は盛の今の年頃を日々の塵埃^{ほこり}と煤^{すす}にうずめて、あわれ彼女^{かれ}はいかなる希望を持てる、老^{おい}たる親を養わんとにや。わが嫁入の衣裳^{いしやう}の料^{しろ}を造らんとにや。

八時をすぐれば街はいよいよ熱鬧^{ちまた}の巷となりて、田舎者を待つて偽物^{いかもの}を売る古道具商^{ふるどうぐや}、女客を招いて恋を占う売^{ばい}卜^{ぼく}者^{しや}、小児^{こども}を呼ぶ金魚商^{きんぎよや}、労働者を迎うる氷水商^{こおりみずや}、おもいおもいに露店^{なら}を列^{にぎ}べて賑わしく、生活のために社会と戦う人の右へ走り左へ馳^はせて、さなきだに熱き日のいよいよ熱く苦しく覺うる頃となれば、水撒^{みずまき}人^{にん}足^{そく}の車の行すぎたる跡より、大路^{おおじ}の砂は見る見る乾きてあさ露^{こほ}を翻^もし尽したる路^{みち}傍^{ばた}の柳は、修羅の巷の戦を見るに堪えざらんように、再び万丈の塵を浴びて枝も葉も力なげに垂れたり。

青空文庫情報

底本：「岡本綺堂随筆集」岩波文庫、岩波書店

2007（平成19）年10月16日第1刷発行

2008（平成20）年5月23日第4刷発行

底本の親本：「文芸倶楽部」

1901（明治34）年7月号

初出：「文芸倶楽部」

1901（明治34）年7月号

入力：川山隆

校正：noriko saito

2008年11月29日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

銀座の朝

岡本綺堂

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>